

か だ ひ び ゆ つ ば しょ
駆け出した日々に 行き着いたこの場所

ふ とびらひら
触れた扉 開いて

ほしぞら か なた ゆめ あしあと
星空の彼方 夢の足跡

ひろ あつ うた
拾い集め歌うよ

ゆめ か ば しょ
夢が駆けてく場所

いま こころ ひ
今も心に秘めて

よる つつ こ
夜を包み込む

まほう か おど だ
魔法お掛けて踊り出す

や つ いろ ふうけい
焼き付いたように色づいた風景は

ころ と せ かい つづ
転んだくらいじゃ融けないから 世界は続くよ

はかな いま だ
儚いままの今を抱きしめて

か じ かん
変わらないまま時間と

ひかり み ある
光 見つめて歩いてく

ほお な なつ かぜ
頬を撫でたのは懐かしくそよぐ風

み な ふうけい おも だ
見慣れた風景 すぐに思い出せるよ

よ そら いだ う いくせん つぶ
夜空に抱かれて浮かぶ幾千の粒に

こ おも いま とど
焦がれた想いは今も届いてるかな？

いの こわ
祈りがすぐに壊されないように

うた
いつもここで歌うから

お ひ まぼろし
ただ追いかけてたあの日が幻でも

うつむ と そら さけ
俯いたままじゃ飛べないから 空に叫ぶの！

はな さ ころ だ
花咲いたこの心抱きしめて

ゆず み ら い
譲れないから未来と

あら みち ふ し
新たな道を踏み締めて

か な た ね が こ え
彼方に願う声

なみだ きざ そら ひび
涙を刻んだ空に響け

や つ いろ ふうけい
焼き付いたように色づいた風景は

ころ と せ かい つづ
転んだくらいじゃ融けないから世界は続くよ

はかな いま だ
儚いままの今を抱きしめて

か じ かん
変わらないまま時間と

ひかり み ある
光見つめて歩いてく

ある
歩いてく…

かけだしたひびに ゆきついたこのばしょ
駈 出 日 々 行 着 場 所

ふれたとびらひらいて
触 扉 開

ほしぞらのかなた ゆめのあしあと
星 空 彼 方 夢 足 跡

ひろいあつめうたうよ
拾 集 歌

ゆめがかけてくばしょ
夢 駈 場 所

いまもここにひめて
今 心 秘

よるをつつみこむ
夜 包 込

まほうおかけておどりだす
魔法 掛 踊 出

やきついたようにいろづいたふうけいは
焼 付 色 風 景

ころんだくらいじゃとけないから せかいはずづくよ
転 融 世 界 続

はかないままのいまをだきしめて
儂 今 抱

かわらないままじかんと
変 時 間

ひかりみつめてあるいてく
光 見 歩

ほおをなでたのはなつかしくそよぐかせ
頬 撫 懷 風

みなれたふうけい すぐにおもいだせるよ
見 慣 風 景 思 出

よぞらにいだかれてうかぶいくせんのつぶに
夜 空 抱 浮 幾 千 粒

こがれたおもいはいまもとどいてるかな？
焦 想 今 届

いのりがすぐにこわされないように
祈 壊

いつもここでうたうから
歌

ただおいかけてたあのひがまぼろしでも
追 日 幻

うつむいたままじゃとべないから そらにさけぶの！
俯 飛 空 叫

はなさいたこのころだきしめて
花 咲 心 抱

ゆずれないからみらいと
譲 未 来

あらたなみちをふみしめて
新 道 踏 締

かなたにねがうこえ
彼 方 願 声

なみだをきざんだそらにひびけ
涙 刻 空 響

やきついたようにいろづいたふうけいは
焼 付 色 風 景

ころんだくらいじゃとけないから せかいはつづくよ
転 融 世 界 続

はかないままのいまをだきしめて
儚 今 抱

かわらないままじかんと
変 時 間

ひかりみつめてあるいてく
光 見 歩

あるいてく…
歩